

在研通信 2021年・春号



一般社団法人 文化庁芸術家在外研修員の会
〒102-0071
千代田区富士見 2-12-16-202
Email: zaikenkai2013@gmail.com
URL: <http://zaikenkai.org/>
TEL(携帯): 080-2091-8965

ご挨拶

理事長 小川幹雄 (1985年 舞台監督)

「新型コロナウイルス感染症流行の終息を願って」と、あるところに文章を挙げたところ、編集時に「終息」を「収束」に訂正されました。辞書を開くと疫病の流行等の場合は「終息」とあります。「新型コロナウイルス感染症流行がもたらした事態の収束」、等であれば「収束」が妥当かと思いますが、人事でどうにか収めることができるのか、疫病の流行が終わるのを待つのか、悩ましいところではあります。ワクチンの開発、接種で「収束」をはかるだけでなく、個々人が感染したり、人にうつしたりしないように努力し「人事を尽くして天命を待つ」ということでしょうか。一刻も早く終息してほしいと願います。

在研会は一口に芸術家の集まりだと言っても、芸術のジャンルはたくさんあります。海外研修においても、現在は7つのカテゴリーがあります(美術・音楽・舞踊・演劇・舞台美術等・映画・メディア芸術)。コロナ感染症の影響は芸術のジャンルによって異なった面があることと思います。個人単位で籠って作品制作に専念されているジャンルもあれば、密に人と触れ合わなければ成り立たないジャンルもあるでしょう。前号に続き、みなさまがご苦労を背負って日々の生活と創造のご努力を重ねておられるご様子をいくつかお寄せいただきました。

文化庁も芸術家に対する支援事業を昨年から今年に掛けて実施されています。在研通信の前号でもご紹介と申請のお薦めを致したところですが、今後も令和2年度第3次補正予算や新年度予算等において、次の支援事業が見込まれます。芸術ジャンルが多岐に亘っており、支援の在り方も多様ですので、在研会ではホームページ等を通して出来得限りの情報を発信してまいりたいと思いますが、会員のみなさまにおかれましては、ご自身のジャンルに則した各協会、団体等を通して、また文化庁のホームページをご照覧いただき、支援事業に積極的に取り組まれますようお願い申し上げます。

目 次

理事長 ご挨拶P.1
目次／一般社団法人 文化庁芸術家在外研修員の会 <2020年度 役員表>P.2
“新型コロナ・ウイルス感染症影響下”へのメッセージP.3
在研会・監事より（継岡リツ／平井徹）*敬称略	
《会員よりのご寄稿》 *敬称略	
◇出雲蓉 1984年／舞踊・地唄舞P.4～5
◇竹内孝次 2013年／メディア芸術・アニメーションP.6～7
◇小田桐和寛 2012年／音楽・ジャズドラマーP.8～9
◇安喜万佐子 2014年／美術・絵画P.10～12
《新進芸術家海外研修員のご活動のご紹介》P.13
◇伊藤雅子 2003年／舞台美術等・舞台美術P.14～16
《文化庁より文化芸術活動支援のご案内について》P.16～17
《2020年度 会費納付会員》P.18～19

一般社団法人

文化庁芸術家在外研修員の会 <2020年度 役員表>

理事長	小川幹雄	(1985年 舞台美術等・舞台監督)
副理事長	久野和洋	(1991年 美術・洋画)
副理事長	浜野佐知	(2001年 映画・映画監督)
副理事長	河地良智	(1983年 音楽・指揮)
副理事長	高瀬多佳子	(1981年 舞踊・現代舞踊)
特別理事	奥谷博	(1967年 美術・洋画)
特別理事	寺崎裕則	(1974年 演劇・演出)
相談役	馬越陽子	(1972年 美術・洋画)
監事	継岡リツ	(2004年 美術・洋画)
監事	平井徹	(2015年 舞台美術等・舞台監督)